

# 地域の恵みを形にする 妙見センター クッキングスペース

利用料金などの詳細は、  
市ホームページをご覧ください  
■問合せ 農政課農政係 TEL76-1185



家族や友人が集まる日、「一度にたくさん料理を作れたら便利なのに」と思ったことはありませんか。妙見センターに新しく整備されたクッキングスペースは、大人数分の料理づくりや作り置き、お菓子づくりなど、さまざまな場面で活用できます。今回は、暮らしの中での便利な使い方を紹介します。



スチームコンベクションオープンで、一度にたくさん調理できるのも魅力です！

急速冷却機と真空包装機で、まとめて作り置きしておくこともできます

## 1 家族が集まる日の料理づくりに

家族や親戚が集まる日の料理づくりにも便利です。スチームコンベクションオープンは、蒸す、ゆでる、焼く、炒める、煮るなど、一度に大量の調理ができるため、大人数分の料理も効率よく作れます。

## 2 忙しい毎日にうれしい作り置き

おかずをまとめて準備できるため、忙しい日のための作り置きにも便利です。急速冷却機と真空包装機を活用すれば、調理した食品の保存期間を延ばすことが可能です。



## 3 子ども連れでの料理会にも

広々とした調理スペースで、友人同士や地域の料理会などの交流の場として利用できます。キッズスペースが隣接しているため、子育てをしている方も安心して利用できます。



スチームコンベクションオープンを活用したレシピはインターネット上に多く掲載されていますので、参考にしてみてください。

# このまちで暮らす！ 枕崎で見つけた、新しい暮らし

移住者インタビュー Vol.1



本市へ移住してきた方に、枕崎での暮らしや仕事、実際に感じた魅力などについて伺いました。移住者の視点から見た「枕崎の暮らし」を紹介します。

今月は

大橋 佑輔 さん

出身地：埼玉県

現在の活動：

まくらざき地域づくり事業協同組合 事務局長

枕崎市の  
お気に入り？

生のカツオ・腹皮や芋焼酎、そして人の温かさです！

## 01 移住を決めたきっかけは？

海への強い憧れや、もっと自分らしく暮らしたいという思いから移住を考えるようになりました。旅行で訪れた際、枕崎には「暮らしてみないと見えない魅力」があると感じ、移住を決めました。

## 02 暮らして感じたことは？

東京で暮らしていた頃と違い、枕崎での暮らしは、地域の方との距離が近く、人の温かさを感じます。近所の方と自然に交流が生まれるなど、まさに「暮らしてみないと見えない魅力」だと感じています。

## 03 今やっていることは？

令和7年9月から「まくらざき地域づくり事業協同組合」の事務局長として、移住者などの雇用や地域の労働力確保に取り組んでいます。農業や水産、福祉などを支える新しい働き方づくりを進めています。

## 04 これからについて

枕崎を「新しい挑戦とワクワクが生まれる街」にしていきたいです。地元の方と移住者がつながり、「移住してみたい」と思えるような、新しい人の流れや仕組みを作ることが私のミッションだと思っています。

まくらざき地域づくり事業協同組合... 枕崎市で令和7年9月に設立された南薩地域初の特定地域づくり事業協同組合です。市内の多様な事業者が参加し、地域全体で人と仕事をつなぐ仕組みを構築しています。



### ○県美展南薩地区展

鹿児島市の市立美術館、黎明館で開催された「第72回県美展(5/16~5/24)」の、枕崎市を含む南薩地区関係作家の洋画、工芸、写真などの入賞入選作品を展示しています。

- 会期 6月14日(日)まで
- 会場 南溟館(第1展示場)
- 観覧料 一般200円、高校・大学生100円、中学生以下無料

### ○枕崎せんじ会小品展

枕崎市の絵画グループ「枕崎せんじ会」による作品展を開催しています。会員の洋画、水彩画などを中心とした作品を展示しています。

- 会期 6月14日(日)まで
- 会場 南溟館(市民ギャラリー)
- 観覧料 一般200円、高校・大学生100円、中学生以下無料

### ○しゃらく立神写真展

枕崎の写真グループ「しゃらく立神」による作品展を開催します。テーマ性を持たせた多

彩な会員の写真作品を展示します。

- 会期 6月17日(水)~7月20日(月・祝)
- 会場 南溟館(第1展示場)
- 観覧料 無料

### ○バスケットボール教室を開催

子どもたちがスポーツに親しむ機会の創出を目的に、小・中学生向けのバスケットボール教室を開催します。

講師は、鹿児島のプロバスケットボールチーム「鹿児島レブナイズ」の選手およびアカデミースタッフです。

- 日時 7月18日(土) 9時30分~ ※受付：9時~
- 場所 総合体育館
- 対象 市内の中学校バスケットボール部またはクラブチームに所属する小・中学生
- 申込み方法 各チームに配布の申込書に必要事項を記入の上、南溟館へ提出またはFAX ※申込期限7月3日(金)まで
- 問合せ スポーツ振興係 TEL76-1348

## スポーツ・文化 イベント情報

南溟館

開 9:00 ~ 17:00  
※入館は16:30まで

休 毎週月曜日  
※月曜日が祝祭日の場合は翌日

問 スポーツ・文化振興課  
TEL72-9998

# 市長 コラム

vol.84



## 日本の経済環境、そして「骨太の方針」

物価が上がっています。その背景にある一つの要因が、インフレという経済環境です。背景にある一つと書いたのには理由があります。

物価高とインフレ、私たちは同じものと思いがちですが、その内容は微妙に違います。物価高とはモノの値段が一時的に上がることをいい、インフレというのは、世の中全体のモノやサービスの値段が、継続的に上がる状態のことをいいます。「失われた30年」という言葉がありますが、この言葉は1990年代の前半にそれまでのバブル経済が崩壊した後、我が国を覆った長期のデフレ経済環境のことを表す言葉です。その間、日本の経済状態は「モノの値段が全般的に上がらず、国民の所得も上がらない」まさに「失われた時代」でした。ただ、その30年の中でも物価高は起こっています。たとえば、輸入品。海外ブランドの服や宝飾品、それらは価格に為替が大きく影響をします。円安になるとどうしても輸入品は高くなる傾向にあります。たとえば、ガソリン。私たちの生活に大きく影響するガソリンの価格も為替に大きく影響を受けます。そのほかにも身の回りを見渡すと、さまざま、一時的に価格が上下したモノがあるように思っています。

この30年あまりのデフレ経済の状態が明らかに変化しているのが現在の日本の経済環境です。実はこの経済環境に大きな影響を及ぼすのは何かというと、国、つまり政府の経済政策です。「デフレからの完全脱却」を謳いながらも、なかなか脱却できなかった日本の経済の状態が明らかにインフレの方向に振れている現在、そういう意味でも6月に発表される「骨太の方針」にも注目しています。